

日本のオペラ作品をつくる
オペラ創作人材育成事業第Ⅲ期

公開講座&演奏会初演

《本事業選出作品》

「咲く～もう一度、生まれ変わるために」

SAKURA～REBORN～

作曲 竹内 一樹 台本 宇吹 萌
Music Takeuchi Kazuki Libretto Usui Mei

メインファシリテータ	池辺 晋一郎 Ikebe Shinichiro	ファシリテータ	郡 愛子 Kori Aiko	齊藤 理恵子 Saito Rieko	仲田 淳也 Nakata Junya
アドバイザー	李建鏞 Lee Geonyong	星出 豊 Hoshide Yutaka			
オペラ研究所長	石田 麻子 Ishida Asako	コーディネータ	馬場 紀雄 Baba Norio	仁科 岡彦 Nishina Okahiko	

第一部：ディスカッション「新たな日本オペラの創作のために」

登壇者：本事業ファシリテータ、アドバイザーおよび選出作品の作曲家・台本作家

第二部：咲く～もう一度、生まれ変わるために

指揮	仲田 淳也 Nakata Junya	合唱	日本オペラ協会 Nihon Opera Kyokai	管弦楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ Orchestra del Teatro Giglio Showa				
飯田聡子	丹呉 由利子 Tango Yuriko	桜	芝野 遥香 Shibano Michika	飯田俊幸	大塚 雄太 Otsuka Yuta	タロー	曾我 雄一 Soga Yuuichi	飯田貴美子	佐藤 みほ Sato Miho

日 時：2020年 11月 13日(金) 会 場：昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウワ
18:00 開演 (17:15 開場) 入場料：1000円 (全席指定・消費税込み)

政府・自治体の要請および
業種別ガイドラインに則り、
安全対策を講じて開催いたします。

【チケット販売について】
事前にインターネット・
電話でご予約ください。

【入場禁止事項】
下記の入場禁止事項に該当する方はご入場いただけません。
※体調不良によるキャンセルの場合は、全額払い戻しいたします。

新型コロナウイルス感染症対策の取り組みとお願い

- ご来場の際には必ずマスクをご持参いただき、着用をお願いいたします。
- 手洗いは手指の消毒をお願いいたします。(消毒液は会場内の出入り口に設置しています)
- お客様同士の会話は必要最小限とし、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- 出演者等との面会、および花束やプレゼント・上着やお荷物等のお預かりは実施いたしません。
- 3密を避けるため、座席は全席指定とし、会場の収容定員以下に減らしております。
- 出演者・スタッフの健康管理や感染防止対策を徹底し、スタッフも感染予防のためマスク・手袋等を着用し、適切な距離をとった対応をさせていただきます。

下記に該当する方はご入場いただけません

- ①37.5度以上の発熱がある。
- ②咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
- ③新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。
- ④過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある。



▲その他、詳細は
本学ホームページにて
公開いたします

チケットの
お申込み

昭和音楽大学演奏センター 〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1
TEL：044-953-9899 ※平日 10時～18時 (12時～13時を除く)
<https://www.tosei-showa-music.ac.jp/> (24時間購入可能・登録無料)

本事業について

本事業は、文化庁委託事業として、我が国の文化に根ざした日本語によるオペラ作品を創造する新しい創作人材の育成を目的に、気鋭の作曲家と台本作家を公募して2018年度にスタートしました。

2019年度は、初年度の試演会で選ばれた作曲家・台本作家4組が、ワークショップを重ね新作オペラのピアノ版全幕を完成。2月に4作品の試演会の結果、「咲く～もう一度生まれ変わるために」が選出されました。

この作品がオーケストラ付オペラ作品として完成を果たし、演奏会形式による全曲初演を行います。

本事業が、日本語による新たなオペラ作品の世界発信へ向けたひとつの契機となることを願ってやみません。



作品概要

都内にある飯田家の縁側。庭には一本の桜の木。主である俊幸が亡くなった一家は、春までに土地を売却し立ち退かなければならなくなった。引っ越し準備をしながら、この土地で生まれ育った聡子の脳裏に様々な思いがよぎる。

かつての聡子はオリンピックを目指していたこともあった俊幸の血を引き国体出場も果たした有望なマラソンランナーだったが、周囲の期待に応えようと激しいトレーニングに励んだ結果、怪我により引退を余儀なくされた。

聡子の引退と同じく、飯田家の桜がてんぐ巣病にかかる。聡子の母・貴美子は桜を切ることを提案したが、俊幸の懸命な枝の切除作業により桜は奇跡的に回復した。俊幸は、引退後も聡子が何らかの形で陸上競技に関わることを望んでいたが、貴美子は聡子が陸上競技に関わり続けることに反対していた。オリンピックを目指して叶わなかった俊幸の葛藤を忘れることが出来ずにいたのだ。

聡子は引退後、外国人相手のツアーコンダクターとして生計を立てる道を選んだ。聡子を苦しめ続けていたゴールやルールがなくなった今なら楽に走れるのではないかとかつては反対していた貴美子が聡子の背中を押す。

幻想の中の俊幸もまた、聡子に走り続けて欲しいと願っていた。飯田家が更地にされる日が遂にやって来た。最後の最後まで懸命に咲く桜を見て、聡子は再び走る決心をする。



創作者プロフィール



作曲 竹内 一樹 Takeuchi Kazuki

1983年東京生まれ。作曲家。作曲を吉岡弘行、佐藤眞、寺嶋陸也の各氏に学ぶ。合唱、歌曲、舞台作品など言葉を伴う音楽を中心に作曲、編曲活動を展開する。オペラ「北斎」、シアターピース「プレイ・スペース」、おとぎ歌劇「夢の庭」、舞台音楽「鶴」「青い鳥」、香港にてアカペラの舞台作品「時代狂唱」、香港児童合唱団に作品が選出されるなど活動は多岐にわたる。今秋、東京書籍WEBショップにて小学校音楽劇シリーズ11「注文の多い料理店」（台本：川光俊哉）が発売される。

合唱団響団員。東京バラライカ・アンサンブル副指揮者。

HP:<https://www.kazukitakeuchi.net>



台本 宇吹 萌 Usui Mei

劇作家・詩人・演出家。新宿生まれ。慶應義塾大学法学部卒業、慶應義塾大学大学院修了。02年文化庁新進芸術家在外派遣制度演劇分野2年派遣員としてNYアクターズ・スタジオ(芸術監督：アル・パチーノ)にて研修。日本人初のRichard Foreman インターン。第3回宇野重吉演劇賞優秀賞、第15回杉並演劇祭優秀賞、SEVEN HEARTS 演劇大賞2017・2018・2019にてそれぞれ4部門・5部門・9部門入賞。その他、現代詩でも受賞多数。2020年10月、戯曲集『THE BITCH/名もない祝福として』刊行（而立書房）。

HP:<http://www.meiusui.info>